

家
姓
姓
姓
姓
姓
姓
姓
姓
姓

~ 13
3331
11



山伏接待解

山伏接待のつゝの道もわづかに見ゆと云

とも。伊藤藤田司とな家教信局。伏信忠信

免を懸けし。なほ生善所乃為よと云く。道

路も接待とまよき。但來の極人をとまね

寺法養せし。由。或書よのん。とりのさる

義經より後乃支侍。法りし。つゝいかにん

謡曲よ。是は附合し。て。修らねばなる。知

大正十一年八月廿九日
奇
本大學出版部

13
3331
11



山伏攝待の圖

義經勳功圖會後編總目錄

卷之一

渡辺逆擗論之條 同圖

犯風波義經渡西國條

八島内裡合戰嗣信討死條

佐藤嗣信忠死乃圖

檀浦合戰平家二門入水之條 同圖

宗盛父子建礼門院擒と成る圖

梶原景時諛義經條并腰越狀之事

腰越宿小義經歎狀成書せり圖

梶原再度諛義經條

土佐坊昌俊上洛條 同圖

卷之二

土佐坊詐書起請文條

辨慶勇力昌俊成提飯圖

堀川夜征鬼三太勇戰之條

土佐坊昌俊堀川館へ夜征むる圖 其二

江田源藏戰死土佐坊被爲刑條

義經行會赴西國條

川尻合戰忠信弓勢條 同圖

義經逢難風條 同圖

任頼朝惣追補使條

於芳野山義經與靜離別條 同圖

力

靜芳野山流落條

卷之三

賜姓名忠信停芳野條

忠信勇戰斬覺範條

同圖

義經主從諸所流落條

義經懲奈良法師條

同圖

忠信饒勇最期之條

忠信奮勇六波羅勢成惱之圖

得業聖佛到鎌倉條

同圖

靜女鎌倉被召下條

靜於鎌倉出產之條

安達清經由井濱小判官の弟君と亡圖

工藤祐經妻勸靜法樂舞條

卷之四

靜鶴周神前奏法樂舞條

同圖

義經主從北國拔落之條

大津次郎裁判官主從條

同圖

辨慶智越三口關係

同圖

義經主從詣平泉寺條

平泉寺管絃之圖

辨慶安宅讀勸進帖條

同圖

卷之五

辨慶於如意渡擲板目條

同圖

直江津上月搜笈并難風之條

義經王從直江乃觀音堂少く危難の圖

義經再度難風小逢の圖

瓶割山出產之條 同圖

義經高館安居條

中尊寺法事嗣信忠信男首服條 同圖

京鎌倉使節到奥刻條

北上山狩獵佐藤兄弟警尾高名之條 同圖

迷山徑戒尊遇異人條 同圖

秀衡授于義經不窮策條

以上
義經功圖會後編總目錄畢

義經功圖會後編卷之一

目錄

渡辺逆槽論之條 同圖

犯風波義經渡西國條

八島内裡合戦嗣信討死條

佐藤嗣信忠死乃圖

檀浦合戦平家一門入水之條 同圖

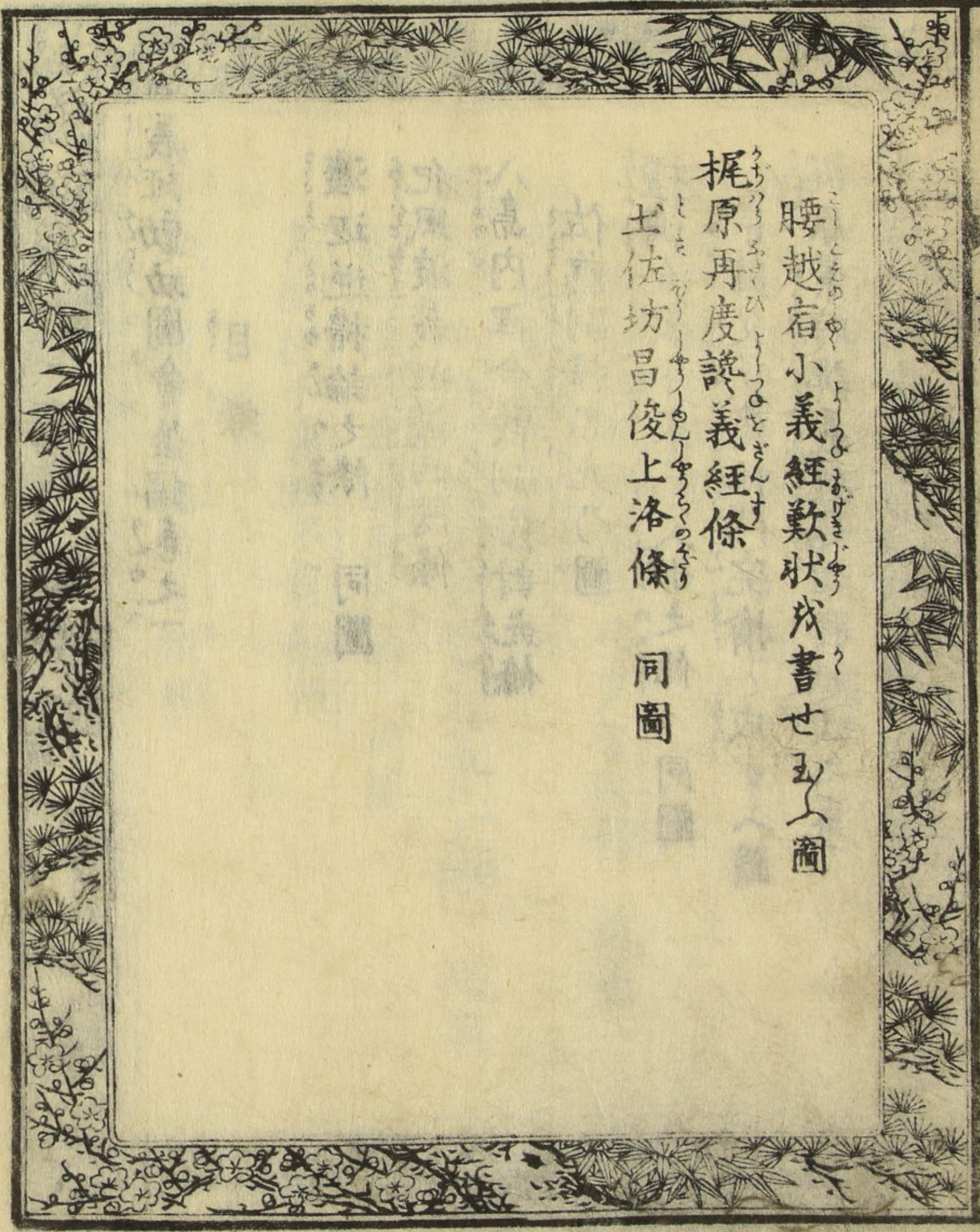
宗盛父子建礼門院掬と成る入圖

梶原景時詭義經條并腰越狀之事

腰越宿小義經歎狀戎書せ玉人圖

梶原再度譏義經條

土佐坊昌俊上洛條 同圖



義經勳功圖會後編卷之壹

浪速 山田敏雄散生考訂

渡邊迎櫓之論之條

源判官義經公と既小平家追討使の官府戎得のひ一六諸將戎
 宿所へ集へ仰々ふと我聞國と外より不可治軍と内より不可御
 二心有く不可事君疑志有く不可應敵とや予今般勅命と蒙
 り武齋乃御代官と々々斧鉞乃威戎專小。西海小赴く更偏小
 緒將乃忠戦小因く。朝威乃嚴ある戎現さんと欲と。此度此合戦
 小於と身命戎惜む。陸と馬蹄乃立命死限り。海と櫓楯乃立かた
 所すく攻入敵徒乘必く討取根戎断く葉戎枯し。君乃震懾戎安
 奉り且亡父乃仇戎殺さんと欲す也も異議あらん人々疾く是よ
 り故卿へ飯り一身戎義經と俱小弄んと思はん人々速小必死の覚朝
 く幾足しといひと曰ひくま。緒將慎み奉り。御旋小や及命死君乃為小

一命我弄ん更毫毛より疵し。寧敵小對ひ死せしり。敵小背と
見せ生我需い。と猪神小誓。中々多。判官大。小脱。ひ斯の
如。ろ。我亦何。成。憂。敵。手。更。手。裡。小。有。終。り。都
戎雷。幾。構。洲。渡。辺。小。著。陣。有。々。其。日。も。暴。風。吹。出。く。白。浪。天。小。漲
り。帆。柱。折。く。兵。舟。も。多。く。破。損。し。々。々。バ。修。理。の。為。小。し。其。日。ハ
川。岸。小。添。く。陣。取。り。時。小。東。國。の。緒。將。大。將。北。御。陣。小。泰。り。々。々
と。東。國。勢。平。場。の。合。戦。小。其。妙。成。得。い。も。船。軍。の。進。退。い。ま。其。法
戎。委。く。知。さ。む。い。ふ。若。士。卒。逆。浪。高。波。小。氣。成。吞。ま。い。り。合。戦。暮。く
く。い。い。奈。何。も。兵。器。を。用。い。く。敵。小。向。ひ。奈。何。も。謀。成。以。く。敵
戎。拉。い。願。其。方。便。戎。教。く。と。判。官。曰。く。丈。船。軍。の。法。之。風
と。汝。小。有。是。戎。地。形。の。善。惡。小。喻。故。小。汝。の。流。小。向。更。介。風。成。後。小
く。戦。成。な。大。船。戎。歩。兵。小。用。小。船。戎。騎。馬。小。用。其。外。五。法。ハ

制常の。然ども水戦ハ弓箭成專。軍船の大小小。挿の品々
多。小。船。と。跪。く。矢。成。放。ち。楫。成。以。く。敵。小。向。時。ハ。船。戎。覆。さ。守。大。船
と。板。楯。布。幔。木。幔。火。桶。火。鞠。炮。祿。拋。鍵。拋。鉾。筒。撞。熊。手。濠。功。拋。刺。木
の。戦。具。一。あ。ず。夫。く。役。人。戎。定。く。相。働。と。力。り。惣。く。練。と。敵。小。仍。く
轉。化。と。と。金。丸。三。門。四。種。小。不。出。所。謂。不。可。以。言。窮。不。可。以。兵。窮。不。可
以。財。窮。と。謂。る。是。三。門。ナ。リ。權。謀。形。勢。陰。陽。技。巧。是。戎。四。種。と。号。す。
陸。法。多。し。と。魚。或。と。六。花。四。陣。或。ハ。鳥。雲。の。陣。小。不。如。鳥。雲。ハ。鳥。散。ト。雲
合。の。形。小。く。変。化。窮。な。く。是。大。公。望。ガ。秘。せ。所。也。予。亦。機。成。る。と。變
小。應。ト。敵。戎。拉。ん。更。方。す。小。あり。三。軍。能。く。獲。く。我。下。知。戎。用。高。谷。戎
顯。ハ。唱。や。今。宵。と。緒。將。と。俱。小。一。種。一。種。と。首。途。戎。脱。し。聖。具。未。明
し。り。出。帆。せ。し。も。仰。々。時。小。堀。原。平。三。景。時。自。余。の。異。見。成。も。待
寸。進。出。く。々。々。ハ。脚。綻。ろ。く。戦。具。射。器。と。大。將。の。下。知。小。隨。以。奉。心

力刃



判官握原と
 逆摺の論
 の圖

去あぐの元来東兵八馬小乗更成知く船小乗更成志くす然くこ人
 馬物ろ用小まき。軍心狐疑す時と敗北せし更必定ん。仍く某
 思慮と回し小船毎小逆撻成まひ。進退自在わく引手馬手小廻
 安し。元来船急小押廻る更方りか。仍く船編小撻成之違脇楫入
 進退自在小く戦進則と進退則も退く。人馬の為小最便宜よく
 面。奈何小くナバ緒將尤とど日。判官聞召稍黙然して
 御坐る。景時成近く召し柳逆撻成まひ更と蒐小好子引り好
 辛し向り。景時答く。疎の仰や蒐る時と常の撻成用以退時ハ逆撻
 成用ひ。れを退小利用有く蒐る時も自在まひ。是小過る船具
 といま。蒐情く小カる小。判官御氣色損。景時成儲し白眼
 のい。嘴と景時凡三軍陣小臨小大将と者蒐と下知と。退安
 と兵ろ。且將と先官と軍門小臨生く飯八面。

況や退と下知と。將の法小非。和漢の船軍多く魚い。逆撻と
 立。更成不聞汝亦。臆病者と逆撻と何百挺も用意。軍
 初らむ人。先小逃く行義。船小。逆撻何らせんや
 先小も。東國勢船軍成不知。我下知小隨ひ我。傲く戦
 何條更有り。列位景時。臆病小。逆撻成立。支度為
 し思慮あ。唯速小是。飯小如。景時面色
 成。更古り良將と其可勝小勝。其不可勝小不勝。中せり。蒐
 成。所小到む蒐可退所小到む退進退矩成不踰利小就害成避更
 小臨。懼練成好。成して真の大將と細。進更成知く退更
 成。不知三軍の緩成不。練成拒と猪武者と。古語。言小
 も其進更銳者と其退更速也。溜り血氣小任。我。小。動小
 軍戦墓。了更あ。却。景時。臆病小。芳。朝。

判官大ノ小怒激いげき一ノハいハ兵を凶器ナリ。三軍の生死國家乃安危悉あやうく茲小懸くまり。故小能用よきた利成得り悪く用まきた禍甚しく。小や良將乃兵成用もふと上天の時日孤虚旺相こくじやうばう考かへ中人乃剛億かういふ柔弱成知下地乃嶮易水土成兵すいど三令五申さんれいごしんの法金鼓鈴旗きんこの羽う成備そま号令賞罰明小縛とり而をくく后軍成出のちぐんと我恐多も勅命とくめいと承うけり順成以したがひて逆成伐君乃震おんん襟きんと安やすんんと奉たままるんと昼夜思慮しよやしゆりよ成疑かんんく必勝ひつぱうの謀成工ますす然小逆支度さかの逆槽さうと何なん也や強敵かうてき小會くわいく己おのが逆成敵小さかにせましたら練れんく亦また敵てき船せん襲しゆ来きふ時逆槽さうと以もつ退ひく練れんく大將たいしやうとる者ものと忍しのむと以もつ百動成制ひやくどうと假令千騎かりんせんぎが童どう騎ぎ小こなる逆も不退ひくも勇士の本意ゆうしなる小未不戦前小逃支こまくくせむ士卒しそく乃心こころならず。三軍命成弄さんぐんめいじじ。味方あじかたの敗戦疑さいせんぎなり。古人こじんも是成死地小陷しせり而をくく後生のちうは是成亡地小置しせり而をくく后存のちぞんす

と廻まり汝進退曲折に成不知しく。猥小巧言成以まる軍心成惑まどくと奇き姫ひめ成命成惜あままる戦場小不出小不如せんじやう敵小向てきく逆さかかるんを不戦小不如せん汝にがくく九臆病者くと無益むえきの軍ぐんと敵小逢てきく後成及ごかんトり是これト直小鎌倉なままる逆成義経さだが旗下小と叶うたまると飽逆あままる嘲呼ちやうこト猪将思ぶつつと唾つとつり。景時けいじ面成失おもひひく益えき立腹たつはらト斯道理成不知無道人成大将すだうりと頼たのむむを。暮くト一いれ軍ぐんをあらうト。端武たんぶ者もの小も劣おりたる人哉ひとと假言かりごとト判官はんくわん怒おこりぬぬ亦また平家追討使へいけ乃官府成賜のりり五位ごの判官小叙任はんくわんせせれ征伐せい乃大将せいとら義経ぎけいが首途小奇怪しゆなる雜言ざつごん哉や維いくくあらふ渠陣外みちへ曳出ひききせせしし你おもも不果ふ佐さ之し龜井伊勢かみい就しゆ尾武藏常陸能并おもも始は天あま魔ま鬼神まも手捕小てととるる者ものトももココ母はは小御ご筵しんあらううてて梶原匹夫疾かままよよままとと眼小物めととるる者ものトもも眼成瞋めトと向景時め尚なも屈かむむせせず。軍儀ぐんぎ乃なあらうういい面おもく思おもひひ成なるる

國家の爲方り我苟も鎌倉殿の御鑑と以て。実檢使の重任を蒙れ
 里。そも大将とハ何吏ぞ。鎌倉殿とて大将は猪武者成大将小八得と
 一。太刀取才わ。五上まを嫡子景季二男景高曰く太刀の柄小手
 成るも五上家の判官も御佩刀小手成掛る。昔兵起泰と戦時一士
 進む雙首成得たり然れども大将の下知あえうち進しと軍令小背
 たりし。是成斬しとや。一人を制し不得しと争う二軍成令し得ん
 後来の見懲小針と舟。軍神小手向しと五上も。三浦義連御佩刀小
 推り。斯も大吏乃初宜成蒙りも御身の穩便もぬ御行迹と頗く
 留奉りし。土井島山ハ梶原父子成蒐阻大将軍小對し奉り無礼乃
 悪口搦りいへ制し。其外の猪將も判官の郎堂成宥め梶原が家人成
 制し。陣中の騒動斜あらず。猶有と衝く搦り。梶原父子ハ己が陣へぞ
 引取ら然し何者う仕りたる

船軍し。梶原小逆槽とく景時め。逆平三
 し。落首成書と張りたり。是より梶原が憤怒深く時と絶言成以
 御兄弟乃中成裂裂竟小廷尉。成追及し奉りたり。古人乃曰明小書
 とも者も猶可防暗小損者も難側とや。美も漫岡の續層受り
 懇薄情とや。人心かりたり

犯風波義経渡四國條

既小其日も過く翌十七日小も。密雲四方小速く南風止
 水至揖取れども。迎も船成出と難く。船底小平外れむ。判官川
 崖小立出り。小遠波山成隱し。白浪岸成覆ぶ。乃ち小肝冷し。小
 海面小向し。心中小祈念し。ひたつと。泰も三種乃神室。今兜徒乃為
 小虜とせり。西海の波小漂り。義経苟も院宣成蒙り。是成
 迎へ奉りし。致とも所暴風逆浪起り。軍艦進ま能はず。仰願と天

地神明愚臣の烟志或憐るる神徳成施し風波を鎮く納受成
三軍小番より伊勢大神宮并小内外兩海の龍神八都と至信成盡
しりひ武藏坊成君より一帛の願文成仕きと命より一帛慶承り畏く
籠の裡より矢立豊帝取出し願文成認む其文小曰

願書

夫以伊勢皇太神宮者國家之宗廟皇統之本源也遠振於六十
余州之中高冠於七千餘坐之上冥鑒至明也並宵壞而高懸靈
威如在俱雷建而遠振仰之弥高鑽之弥堅偉哉為其德奉世功
以盡誠也粵治承以來平氏一族張威一時流毒四海群黎苦苛政
庶士厭殘罪逆貫盈道路以同是為朝敵之最為臣之道不致
命者向者奉承紹旨令臣封之函蓋相應殊戮何疑往年以來寐
不安席食不甘味東征西伐執銳被堅天鑒不昧武威衛張所向

必靡所伐自服遂令賊徒潛跡於西洋而未殲鼠竊狗盜之殘黨
况亦不懼天威妄奪神岳悲哉夫傳國之神岳為賊徒之有也為
國為君親此積惡不顧菲戈是可忍孰不可忍也臣苟秦爪牙之
裨將率貔貅之義卒艤於海邊張旅於邊鄙之日暴風忽發高
浪翻天擋已欲折撤亦欲摧三軍畏懼不能輒進仰願皇太神宮
水府神與此義戰遠耀靈威休此怒號之音遏斯激揚之勢迴室
祚擁護之眸加諸士冥助之力丹精有誠玄鑒莫誤敬白

于時元曆二年二月日

源廷尉九郎義經

とて書り々々。廷尉願書小鎬箭成添く海中小投入のひくれを
滅小神明や納受しひく南風忽ち北風小吹りり空の氣色も和
た源家の武徳神慮小合感應現小刀えりり悦勇手すこし
者なり大将弥信心成幾しり斯ふ奇瑞成末代小くめ且と怨敵

追伐乃祈小とと所乃者成君く渡辺乃川岸小一社成造宮一神明
 宮成勧結させりひぬ大段松屋町北哀所小今尚看朝日乃神明是なり此上と暫時も猶豫なせと
 早く船ども小兵狼武具取入馬ども引立押出せと下知り水主
 揖取大い小驚たいまど風強く雨さえ降出いむ御船成出さん更あり
 難くいと言とす判官甚と怒りひ鎌倉殿乃代官と朝敵追討乃
 院宣成承る我下知成用さる社曲事乃れ向風小渡さるも風と音通
 小過とまじも方く追風もさる神刀擁護乃瑞風小何の懼りあらん浪
 風鎮らむ敵も油断なく備成没ち相待らん其時寄とりとも何の
 勝利あらん小大風小とよと渡さると油断したらん所へ押渡り觀
 面小攻入不意成伐ん小勝利成得とと更さる異儀小及む奴等
 一射殺者どもと居丈高小成り曰承りいと佐藤兄弟江田熊井武
 藏坊成始一人畜子乃勇士服成腫し声成大小と御錠もろと御船

仕きさなくバ残らす廻り殺ん今も船蒐ん勢ひあまハ船子ども懼成
 たり今殺せん命なると海成入く死やとと二月十七日の夜丑ハ冠好
 小大小の船悉く纜と紐と押出と判官下知ると曰味方乃船小雲火と
 焼更勿き大風ハ過りくと大更あれど只義経ハ船と目的小乗取よ
 と一番小乗出と入む數子艘乃船ども大黑暗の海上ノ舞も不焼押出
 小疾風荒く逆浪小山の、甚雨と降々れを數多の船を元乃川岸
 小漂ひ判官乃御船五艘乃ぞ浮つ沈つ走る是成乃く富山重忠
 後藤兵衛田代冠者金子兄弟亦相議し假令身と波瀾の底小とつ
 悪臭の餌とあるとも何苦とと大將軍小隨ひ奉らんとやと
 百余騎乃勢軍船三艘小取棄く曳く声成出り乗出と是より力成
 得く船奉行が船も押出り以上八九艘乃船大浪成も恐まると眼槽
 眼楯成挿と海上遙小走行小銀浪天小接りく恰も山小登がとくと又

鳥島

溪小下小異あつと雨を篠茂乱うしく四方夏くしく思尺のあつど
凡んえざり各王ころ心地とふらんり然とも判官此とも動りる舟
子茂勇の属く走しぬ一程小左行ろ風波を凌ぐ船とも馬を望
十八日卯尅小阿波國羽島尼子浦小を馳著々海路三日路とつと只
二時小著せりそ不側なり々斯く判官磯邊茂尺渡るを岸茂去更
五六町小く小高を岳ろ上小赤旗ひいと立竝一群の勢屯せり判官緒
軍小向らひ面疾く武具せよ浪小汰きく立喋る馬ともたつと磯
近く追下さる敵箭の的となりぬ沖より馬茂追下り船小つけて
泳せよ鞍爪潰る程あつと赤葉く強上まよと仰せらる小ど各武具茂
固免二百五六十騎混くと赤上る此所茂を散位成良る舎る小按庭之助
良遠とよ者三百騎ゆく固居り川越小太郎城孫太郎熊井太郎江
田源藏亦真先小進も鐵をもあつと喊を造り鬼入るも思もよぬ手家

勢大の小周障一も支もよむ陣場茂捨く進行ろ判官笑せの思
りも言甲斐なき敵も先此所小陣茂取よと申しる誓く息を
継ぐ人処小黒志威乃鎧茂著一年齡四十行なる兵士率百騎余茂率
一徐く出来まき伊勢三郎陣頭小菟出来将ハ何成者そ名を聞
んと呼ろるれば彼者馬より馳下是ハ當國の任人近藤六親舎と申
者也御味方小弛参りしをヤク義盛頼く御前小伴ハ斯し言上
しるまに判官近く召き早速弛参る余神女あり檢賞ハ功小しと下
扱此所を何しと問る親舎畏く挂浦と申し父も判官大の
御悦喜あり扱と吉兆ある地名も我軍茂出と小幼く勝浦小
著更合戦乃勝利疑なき勇や殿もと笑坪小入る近藤六を案
内者しる續州ハ進裁せんとも要意しるひる

矢島内裡合戦副信戦死之條

力の後



力刃後蒲原



佐藤
嗣信
忠死
乃圖

薫巧後蒲原

九

茲小判官乃郎黨鈴木三郎重舎と兼て延尉の内命を得て去年より四國路へ下り。平家の動靜をうかがひ居たり。今判官御渡海有し。乃ち聞て弛参り。判官小拜謁し。其御下知より去年より當地へ押渡り。此所彼所を徘徊仕り。野武士緒浪人をうかがひ忍痛とて八島の内裡を窺せし。小三軍の法令疎小し。將士怠り。小い其上年乳高松乃在家小大茂掛あり。直小城中へ燃入り。と言上。其外地利乃遠近山川乃廣狹まろ。委く慎舌小及々れむ。判官大い小悦み。近藤六兵衛召を我是より屋島へ押寄んと思ども。味方乃後陣のまじまじも。亦も矢島小と平家の勢何程う有と問ふ。親舎答く。さし矢島小と凡二万騎もいひ。浦く島く乃敵合小五百騎三百騎宛配當し。差置將亦頃日伊豫の河野が平家小不隨。我攻んと。宗徒乃輩數千騎あり。弛向いへ。御所の勢も千騎小

と過い。と言上。判官周召。板軍圖小中まり。昔金太宗金剛と征せし時。一夜小行。更二百里甲。成不解。三日食せむ。遂小敵軍。成敗し。兵成速小せ。故たり。面く。勞成不厭。片時も早く。押寄り。近藤六兵衛重舎と俱小近邊の野武士。成り。山く。嶺く。小雲火を燒。昼も煙成揚。紙旗紙幟を多く。立く。偽兵成あり。大勢四方より取廻り。勢成た。い。と命し。より。兩士領承し。出行を。判官と本部の勢と牽。躬先陣小進。より。後軍も大将小後。し。揉小。と。進程小。河波と。須岐乃境あり。中山成夜。と。俱小。越。早。三。東の頃。と。覺。し。死。小。前。路。小。脚。力。と。覺。し。死。男。立。文。成。持。く。急。ぐ。鉢。なり。判官と。宛。く。氣。早。左。大將。あり。彼。男。小。近。付。より。我。徒。と。矢。島。乃。御。所。へ。参。り。者。あり。が。夜。中。故。路。小。送。り。足。下。ハ。何。國。へ。行。人。小。や。と。問。ふ。彼。男。答。く。僕。と。平。日。都。方。より。矢。島。乃。内。裡。へ。御。使。来。参。り。路。次。の。案。内。より。知。り。唱。

案内中さへし何氣なく先小まき歩小ど判官悦み是は人小逢すなり。叔其御文を維人より御文小やし同く彼男答く是はさる都方の御方より大臣殿へ奉る御文なり。源氏既り都を並足すし定く其内通ふこといふめし小ど義経公六藏小年慶の鎧の袖成列せし。年慶早く其意を察し。彼男成一脚小蹴倒し。持し文成奪取し呈し。判官開封見し。小女房達より消息と覺し。義経と突く銃氣男あは荒れ浪風成も不厭押渡り待らし間搦く備小忘り。杯認且此程乃憂節乃ふかんじ。さも衣小書續し。判官大い嘆息あり。人。是は乃女まきさえ斯我機を見賺し内通せり。吾日遅く茲小未敵軍備成嚴重小し。敗り難く後日小武喬乃上覽小入ん。深く懐中し玉ひ跡跡成逸し。引田浦入野高松卿成打過。翌日十九日辰の尅小矢

嶋乃皇居乃向い浦小著し敵陣の跡成窺ひ。敵寄るし思きり。何の備もなかり。年慶判官小向い手家勢微あし。上下臆病神の魅し。兵も味方乃小勢成刃を勇氣付く戦ひ難義小い。唯味方の勢成大勢小足せ。敵乃軍立成と御覽あし。判官さる。判官さる。何し。味方成倍し。敵成發し。ゆし。年慶曰親舎が相圖もい。在家小大と掛敵乃去来成。伏兵成以て敵成伐り。判官點首し。是吾胸中と清合せり。佐藤兄弟成頭し。城兵乃通路成守らせ。狂卒小命し。先年礼高松乃在家小火成けさせ。小打し。海風烈く余煙東西小覆猛火八方へ通り。重舎親舎是成見し。須彼相圖し。四方山く小畑成と揚ふ。此時皇居小。伊豫へ發向せ。兵健軍し。敵首百五十板進り。大臣殿の館し。美檢最中なる所。士卒迄来

何時いつも程ほど小こ敵たけ押寄おしよ高松たかまつの在家やま小こ大おほ成なりけいしと経進きんじんしつれむ。門かど乃すなは入いく仰天おほそら急死いそし弁使べんし成出なりだしつれむ。小こ四方よもの嶺たかね々々小こ煙えん火か大おほ勢せく。數萬たふしの軍勢ぐんせい一ひと奔は小こ攻寄せきよいと報うむむ少すく也や。列位りやくゐ大おほ少すく周障しゅうしやうあふ程ほど小こ言こと甲斐かひ多おほ雑兵ざつへい原はらと早はや拔ひく小こ落行らくぎやうなり。程ほど乃すなは河内かふち内うち裡ら小こ移うつりく三四さんしやう所ところより燃もええ六む益やく鷲じゆたつたつい主上しゆじやう女院にょゐん北政所きたけしよ二位に殿との以下いげ内府うちふ父子ふち俱とも小こ船ふね小こ取乘とりまく漕出そうだしつれむ。我われもくと思おもひ小こ船ふね小こ乘まり押出おしだすも余あ小こ乘まり盈あふみ船ふね成なり沈しづむも多おほかりなり。源軍げんぐん得えたりし惣門そうもん乃すなは諸小しよこお出いでで小こ折をり節ふし乃すなは于浮ゆあまを馬うま乃すなは蹴上けあり小こ水みづ昏くらむ。とゞろくも中ちゆう下げり白旗はくしほ颯さつと指上さしありハ勢せ乃すなは多おほ少すくもんえざりなり。時とき小こ判官はんくわん八赤地はつせち錦にしんの直垂ちくすゐ小こ紅井べに下濃げのうの鎧よろい鉄てつ形かたち小こ龍頭りゆうづむむ小こ白星はくしほ乃すなは五ご枚まい舟ふね紅月べにづきの母衣ははえ乃すなは四指よしほ小こ中黒ちゆうくろ乃すなは征箭ていせん成なり肩かた金造かねぞう乃すなは太刀たち小こ虎皮こらの尻しつ鞆たもと掛かり小こ成なり佩ひ重おもなるなる乃すなは真中まんなか執例しやくれい乃すなは大夫たいふ黒くろ小こ白しろ覆おほ倫りん乃すなは鞍くら置おくむ

跨またり。陣ちん小こ進出しんしゅ鎧よろい踐ふ張は大おほ音ね小こ一院いちゐん乃すなは勅宣ちよくせん成なり蒙奉もうほうり平家へいけ追討おしう使し乃すなは大將軍たいしやうぐん左衛門さゑもん尉ゑ五位ごゐ判官はんくわん源義経げんぎきやう是こゝ乃すなは向むかひ進しんも宿運しゆくゐん盡じんくも門かどの人ひと不ふ抗拒かうけ敵たけ乃すなは人々ひと乃すなは御命おんみこと公義こうぎ經きやう乃すなは身み小こ替かりも中ちゆう者しや乃すなは如何いか小こ呼よ降くだ参まり人々ひと乃すなは御命おんみこと公義こうぎ經きやう乃すなは身み小こ替かりも中ちゆう者しや乃すなは如何いか小こ呼より乃すなは人々ひと乃すなは品骨しんこつ柄類へいるいあはれ小こ粧まり花はな乃すなは天晴あつれ大將軍たいしやうぐんやと敵たけも味方あじも私語しぎよ合あり。平家へいけ乃すなは人々ひと是こゝ乃すなは我聞わがきこ叔しよも亦また義経ぎきやう小こ欺あまそく皇居みやうきよ成なり始陣はじめちんく成なり焼や立たらままそ安やすらら重おも承う遺恨いこん成なり暗くらせせと愧はづれ成なり知しる武士ぶし二百にひゃく騎余きあ船漕ふねそう寄より散さんく小射こしやる源氏げんし方かた小こも田代たしろ冠者かんしや信しん經きやう富山とみやま次郎じやう重忠おもむね金子かねこ十郎じゆしやう舍忠せちゆう日餘ひじゆ市いち近ちか則すなは伊勢いせ三郎さんしやう後ご藤ふじ基もと或ある佐藤さとう兄弟けいぎ始はじめ一人ひとり當あり乃すなは勇士ゆうし等ら矢石やいし成なり侵かり喊こゑ成なり殺ころす攻せ戦いくさ人ひと程ほど小こ源手げんて兩家りやうけの予よ肩かた死し人ひと駈かりくそんえ小こ然しか所ところ小こ能登ののり守まも守まも教廷けうてい船漕ふねそう寄より大音おほね小門こもん脇わき守まも相教あいきやう盛さかる二男になん能登ののり守まも守まも教廷けうてい源氏げんしの天將てんしやう

小箭一筋進せんと呼りたれを源氏方大い小驚れ能登殿を方一く
 一の谷ゆく戦死有しと思し小猶存命小やと恐怖しなう哉判官朝突
 むひ能登殿とく鬼神あくるまよとあうどいづく見衆せんと約成進
 々小哉佐藤副信押苗手釣乃御身ろ涯くく出ぬ小叟勿まこ恐あ
 々々副信御代官仕んと約繰出し源廷尉義経是小在しと名乗
 々々其時教経叟殺しふ箭成兵ど坊く放と副信早業乃手垂ち
 まま起来箭筒成太刀技さぬ小坊く落しりさまども教経管矢
 成以く射らまくれが鏑と副信胸板小ぐさし射まくり痛手ぬれ
 小馬上ふたぬるぞ真逆小落く死たりたり忠信是成乃兄乃敵道
 さしと弓箭叟對坊く放と的をまき能登殿の童菊王成海中へ
 射落たり教経と一の箭成放く鎌田藤次光政成射落しぬまも
 の源軍此弓勢小碎易しと行遙小退まきたを平家も是成二面目小

